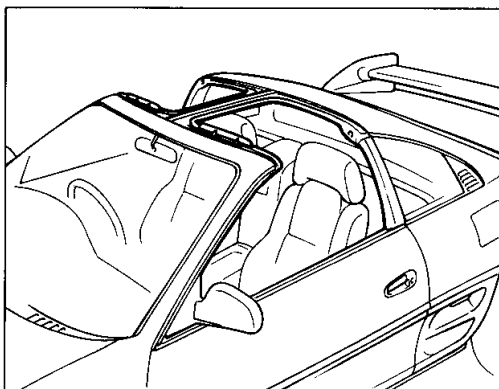


Tバールーフ.....98

リヤスポイラー.....101



Tバールーフ

装着車あり

Tバールーフはルーフの左右が別々に脱着でき、ルーフ内の内側にはサンシェードも備えられています。

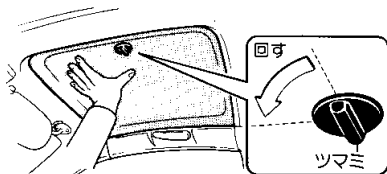


トヨタ純正品以外のルーフラック、スキーラックを取りつけないでください。Tバールーフを損傷するおそれがあります。

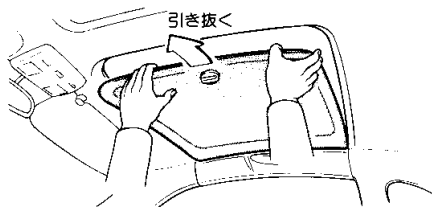
サンシェードを脱着するときは、サンバイザーを下げた後から脱着操作を行います。

▶サンシェードの取りはずし方

1. LOCKツマミを左に90°回してロックをはずします。



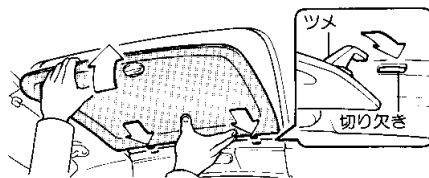
2. サンシェードを室内側に引き抜きます。



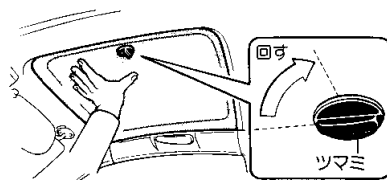
走行中にサンシェードの脱着操作を行わないでください。急ブレーキをかけたときなどにサンシェードが飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶サンシェードの取り付け方

1. サンシェード側面のツメをルーフ側面の切り欠きにあわせて差し込みます。



2. LOCKツマミを右に90°回してサンシェードを固定します。



走行する前にサンシェードが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとサンシェードが急にはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

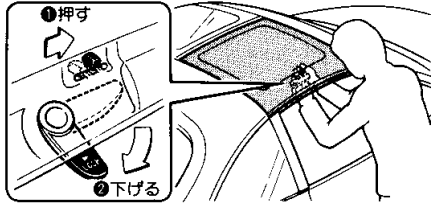


アドバイス

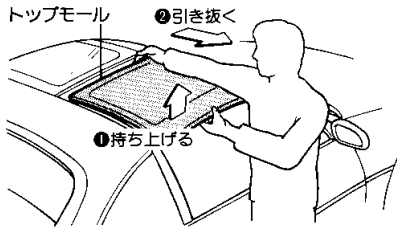
サンシェードは左右それぞれ専用なので取りつけるときは注意してください。誤って取りつくとサンシェードのツメを損傷するおそれがあります。

▶ルーフの取りはずし方

1. サンシェードを取りはずします。(前ページの「サンシェードの取りはずし方」を参照してください。)
2. ①UNLOCKノブを車両前方へ押したまま、②ハンドルを引き下げます。



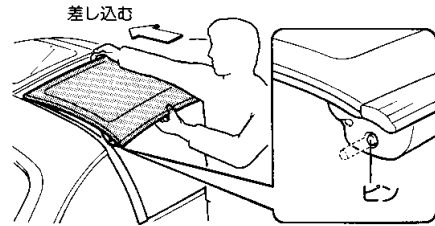
3. ①ルーフ側面を上方へ軽く持ち上げ、②トップモールから引き抜きます。



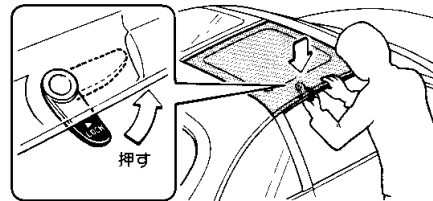
警告 走行中にルーフの脱着操作を行わないでください。急ブレーキをかけたときなどにルーフが飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶ルーフの取り付け方

1. ルーフ左右のロックピンが出ていないこと(ハンドルが下がった状態)を確認し、ルーフをトップモールの溝に差し込みます。



2. ルーフを静かにおろし上から押えつながら、ハンドルをカチッと音がするまで押し上げます。



警告 走行する前にルーフが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとルーフが急にはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



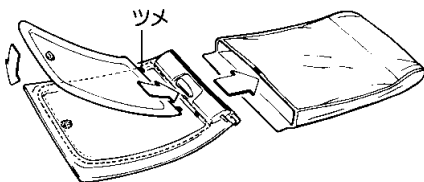
アドバイス ルーフは左右それぞれ専用なので取り付けるときは注意してください。誤って取り付くとルーフを損傷するおそれがあります。

▶ルーフおよびサンシェードの格納のしかた

取りはずしたルーフおよびサンシェードは備えつけの収納袋に納めて、シートうしろ側に置き、固定ベルトで固定します。

＜収納袋への納め方＞

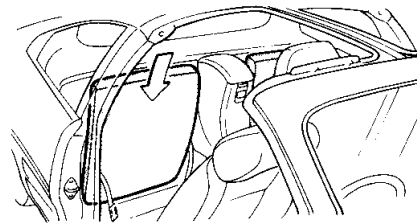
ルーフとサンシェードを一緒に収納する場合は、サンシェードのツメをルーフの切り欠きに差し込んでから収納袋に納めます。



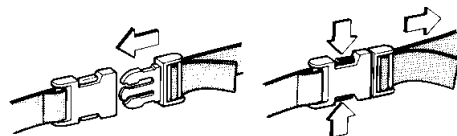
アドバイス ルーフは必ず収納袋に納めてから格納してください。収納袋を使用しないとルーフに傷がつくおそれがあります。

＜格納のしかた＞

1. ガラスの上面を車両前方に向け、ハンドル部を下にしてシートうしろ側に置きます。



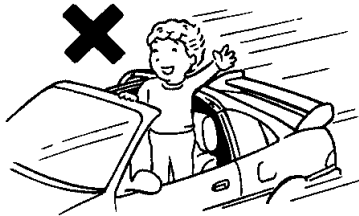
2. ベルトで固定します。ゆるいときはベルトの長さを調整してください。



Tバールーフ



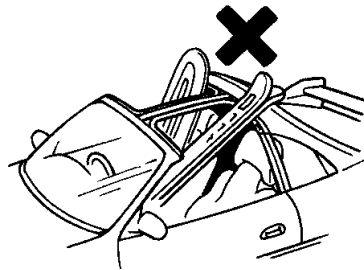
1. 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



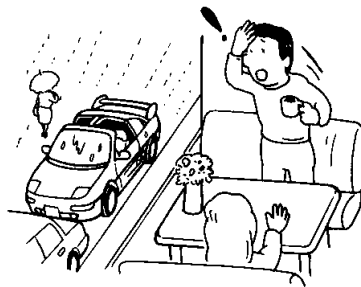
2. 開口部に腰をかけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外のものに当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



1. 車から離れるときや洗車時には、完全に取付けられていることを確認しましょう。



2. ルーフ上に水や雪がないことを確認してから取りはずしましょう。水や雪がある状態で取りはずすと、室内に水や雪が入り、ぬれることがあります。

リヤスポイラー

GT、GT-S、G-Limitedに標準装備

Gに注文装備

走行条件によりリヤスポイラーの角度を3段階に調整することができます。

新車時は、一般走行条件にて高速安定性と操縦性のバランスが最も優れる標準角度①に設定してあります。標準角度①での走行をおすすめします。

●他の角度②③ではリヤスポイラーを立てる事によりリヤのダウンフォース（下に押さえる力）を調整し限られた条件下（例えばサーキット走行時など）において操縦性を向上させる事ができます。

■角度調整方法

1. 5mmの六角レンチを使用してネジをはずしスポイラー両側のサイドカバーをはずします。

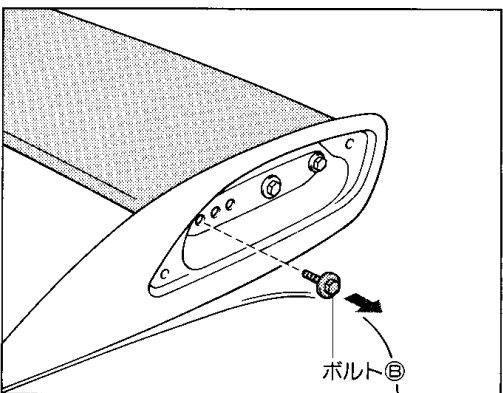
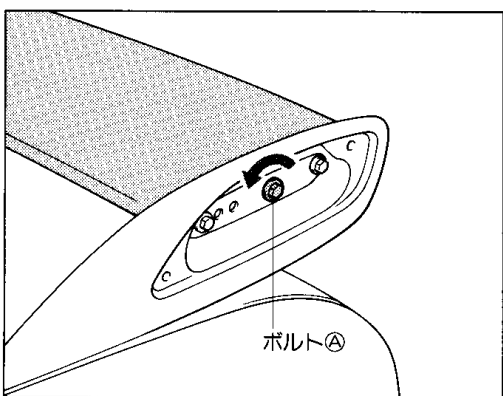
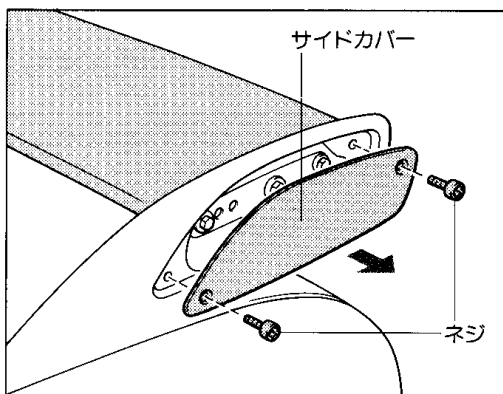
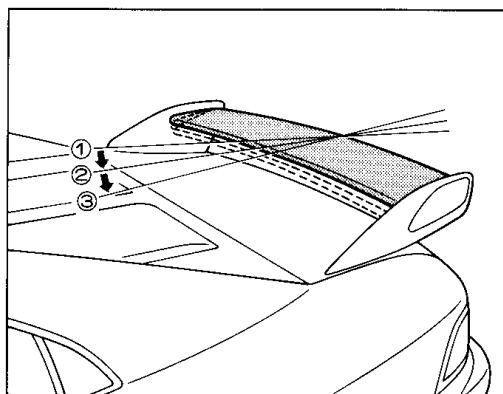
2. 10mmのソケットレンチを使用し、スポイラー両側の中央のボルト①を角度調整ができるようにゆるめます。

3. 10mmのソケットレンチを使用し、スポイラー両側の車両前方のボルト②をはずします。

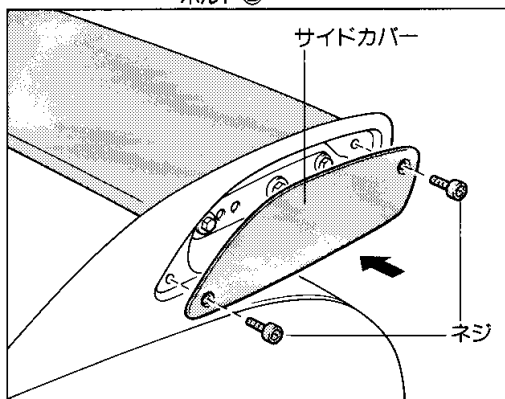
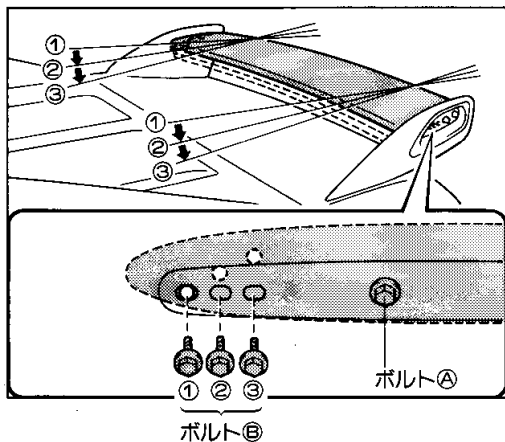


車両後方のボルトをゆるめないでください。
スポイラーを破損するおそれがあります。

アドバイス



リヤスポイラー



4. スポイラーの角度を調整します。

左右のボルト穴が同じ位置になっていることを確認し、車両前方のボルト③を先に締め付け、次に中央のボルト①を締め付けます。

(締め付けトルク：約80kgf・cm)



注意

- スポイラーの角度は左右を異なった位置で固定しないでください。スポイラーが破損し、重大な事故を引き起こすおそれがあります。
- ボルトを確実に締め付けてください。確実に締め付けないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

5. サイドカバーを再度取り付け、ネジを確実に締め付けます。



注意

- ボルトを確実に締め付けてください。確実に締め付けないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。